「中川王国」落城

「ひとえに私の責任」

にじむ悔しさ 復帰に意欲

「ひとえに私の責任。本当に申し訳ない」―。9選を目指した自民党の中川昭一氏は30日午後8時20分、帯広市東1南25の選対事務所に姿を現し、絞り出すような声で敗戦の弁を述べた。父一郎氏（故人）の代から約半世紀続いた「中川王国」。負けを知らない陣営は、あまりにも早い小選挙区落選の報に言葉を失い、重い空気に包まれた。

午後8時。支援者の姿もまばらな選対事務所に「石川知裕氏・当選確実」の一報が流れると、選対幹部は信じられないといった表情でテレビ画面をのぞき込み、事務所内にどよめきが広がった。

事務所に到着した中川氏は、矢野征男選対本部長ら幹部と握手を交わし、神棚に二礼。選挙期間中の弁舌は影を潜め、「（選対設置後の）この11カ月、（議員生活）26年間、父親から合計すると46年間、支えていただき仕事してきたが、こういう結果になった」と目を潤ませて悔しさをにじませ、「感謝とおわびの言葉しかございません」と深々と頭を下げた。

あいさつを終えると、駆け付けた支援者に歩み寄り1人ひとりと握手。泣き伏す古参の女性支援者に「ごめんね」と謝られ、中川氏は「こちらこそ、ごめんなさい」と肩を落とした。

小選挙区落選に続いて比例当選も絶望的となり、目を潤ませて落胆した表情で支援者に敗戦の弁を述べる中川氏（31日午前0時、帯広市内の選対事務所）

揺らぐ政財界基軸

中川氏 失態で求心力低下

解説

故・中川一郎氏から続く「王国」にピリオドが打たれた。中・小選挙区を問わず圧倒的な安定度を誇ってきた中川昭一氏の敗北で、地元政経界の基軸だった保守層の流動化は避けられない情勢に。来年の帯広市長選、参院選をめぐる展望も混沌（こんとん）としてきた。

中川氏は重要閣僚や党幹部を歴任するのに伴い、産業界がこぞってバックアップする支援体制を構築。その陰で一郎氏から引き継ぐ後援会組織は高齢化が進み若返りが課題になっていた。市内は選挙前の6月に立て直しを図ったが、町村部に至ってはほとんど機能しない状態で、豊頃、広尾など強固だった地域でも敗北を喫した。

産業界主導が前面に出る半面、地域とのコミュニケーションを基礎とするきめ細かな支援態勢が瓦解、失態会見・閣僚辞任に伴うイメージダウン、自民への逆風という二重のマイナス要素をはね返す力がなかった。

これに対し石川知裕氏は、町村部で影響力を残す鈴木宗男氏と連携を強化。与党の農業政策をめぐって末端の農業者と中川氏にあつれきが生じた間隙（かんげき）を縫い、町村での支持を拡大した。町村で弾みをつけ、課題の市区でも政権交代の追い風に乗り一気に中川氏を抜き去った。

中川氏の求心力低下で、中川後援会の中枢を担ってきた農業・経済界上層部の影響力低下は必至の情勢。民主党政権の下、新たなチャンネルを開拓する必要もあり、産業界は暗中模索を余儀なくされそうだ。新たな盟主となる石川氏にとっては、中央とのパイプ役として存在感を発揮できるのか、これから真価を問われることになる。

市長選をめぐっては、現職の砂川敏文氏が大腸がん手術から復帰したとはいえ、後ろ盾の中川氏がつまづき再出馬の環境は限りなく狭まった。衆院選勝利を弾みに民主陣営には市政奪還の機運も高まっているが、確固たる候補は定まっておらず、自民サイドとの間で相乗りも含めて、水面下での駆け引きが活発化するとみられる。

同じく来年に予定される参院選では中川義雄氏の去就も焦点に。道連選対本部長も務めた衆院選では11区をほぼ重要選挙区を軒並み取りこぼし、責任論が浮上しかねず、自身の再出馬の環境は不安定となった。今衆院選を発火点に、次期市長選とそれに続く参院選で、十勝の政治地図は大きく変貌へんぼう）する可能性が強まった。（能勢雄太郎）

「期待に応えられず」

共産 渡辺氏

敗戦の弁を述べる渡辺氏（30日午後9時半ごろ）

共産党の渡辺紫氏は30日午後9時半、帯広市西16南2の11区事務所に到着。同所1階に詰めかけた支持者から「お疲れ様」と声をかけられ握手を交わした。

夫の治郎さん（63）が見守る中、記者会見に応じ、「（支持者の）皆さんに大変お世話になりありがとうございました。ご期待を寄せていただいたのに応えることができず申し訳ありませんでした」と頭を下げた。

自民惨敗の報道には「自公政権の退場の思いが（共通認識として）あった。国民の立場に立って政治をやっていければ」。今後の民主党中心の政権には「不安を持たれている人も多い。良いものは良い悪いものは悪いと伝えながら、間違った政治にものを言っていきたい」と述べた。

党十勝地区選挙闘争本部の佐藤糸江本部長は「（今回の選挙で）新しいページを開くことができた。結果がどうあれ、政策を実現できるように明日から頑張りたい」と話していた。

自公政権への批判やローマでの失態会見、財務・金融相の辞任などを受け、逆風の中での選挙戦。キャッチフレーズは「実力本位」から「新たなる決意」に、選挙期間中は「十勝を守る」と訴えた。一郎氏形見のはちまきはポケットに入れ続け、最終日の街頭演説では頭に巻いた。

比例復活の望みが薄れた同11時半すぎ、選対事務所に戻った中川氏は「これからもやらなくてはならない事がある。皆様方にまたご恩返しをするべく進んでいきたい」と、国政復帰に意欲を示した。

比例、小選挙区の各得票と投票率

道11区候補の市町村別得票数

※各表のカッコ内は前回。渡辺紫氏票は長谷部昭夫氏票、幕別は旧忠類と合算

	石川知裕（民・前）	中川昭一（自・前）	渡辺紫（共・新）
帯広市	52,890(36,096)	41,779(49,267)	5,240(8,064)
音更町	15,155(10,069)	10,814(12,364)	1,383(1,995)
士幌町	2,068(1,660)	1,946(2,282)	262(358)
上士幌町	2,042(1,658)	1,338(1,592)	174(261)
鹿追町	1,968(1,486)	1,759(2,131)	116(182)
新得町	2,648(2,137)	1,847(2,329)	242(284)
清水町	3,452(2,405)	3,150(3,823)	355(367)
芽室町	5,898(3,857)	5,301(6,059)	745(851)
中札内村	1,418(1,147)	1,183(1,263)	124(166)
更別村	1,085(726)	1,191(1,347)	71(112)
大樹町	2,091(1,452)	1,874(2,452)	157(221)
広尾町	2,619(1,696)	2,277(2,874)	352(457)
幕別町	9,647(6,589)	6,433(7,960)	1,212(1,651)
池田町	3,139(2,631)	2,074(2,491)	161(269)
豊頃町	1,264(914)	1,167(1,408)	92(206)
本別町	3,556(2,969)	1,985(2,630)	181(260)
足寄町	4,088(4,014)	1,362(1,716)	103(139)
陸別町	1,452(1,330)	544(765)	64(111)
浦幌町	2,175(1,790)	1,794(2,303)	106(191)
町村合計	65,765(48,530)	48,039(57,789)	5,900(8,081)
道11区合計	118,655(84,626)	89,818(107,056)	11,140(16,145)

比例代表選挙市町村別得票数

	民主党	自民党	公明党	共産党	社民党	新党大地	幸福実現党	新党本質	合計
帯広市	30,269	28,593	9,368	6,383	2,882	21,774	496	214	99,979
音更町	8,420	7,718	1,877	1,795	682	6,347	167	41	27,047
士幌町	1,180	1,379	303	320	90	870	21	7	4,170
上士幌町	1,008	966	228	205	96	973	17	3	3,496
鹿追町	1,156	1,324	265	139	73	813	19	8	3,797
新得町	1,495	1,246	395	264	166	1,063	28	23	4,680
清水町	2,131	2,235	623	391	188	1,256	37	11	6,872
芽室町	3,667	3,779	827	816	331	2,284	48	22	11,774
中札内村	818	788	223	168	77	619	22	5	2,720
更別村	603	878	164	93	76	530	10	4	2,358
大樹町	1,092	1,275	366	176	76	1,057	21	8	4,071
広尾町	1,295	1,607	423	447	83	1,258	21	14	5,148
幕別町	5,495	4,503	1,213	1,584	451	3,805	83	36	17,170
池田町	1,599	1,384	455	206	165	1,420	19	15	5,263
豊頃町	717	833	237	123	50	522	7	3	2,492
本別町	1,559	1,401	393	212	158	1,942	18	3	5,686
足寄町	915	940	347	117	77	3,067	8	4	5,475
陸別町	366	354	119	58	39	1,094	15	14	2,059
浦幌町	1,207	1,173	448	119	109	927	17	8	4,008
町村合計	34,723	33,783	8,906	7,233	2,987	29,847	578	229	11,8286
道11区合計	64,992	62,376	18,274	13,616	5,869	51,621	1,074	443	218,265

小選挙区道11区市町村別投票率

（投票率の単位は%、カッコ内は前回）

	有権者数	投票者数	投票率
帯広市	138,158	101,497	73.46(68.57)
音更町	35,624	27,744	77.88(73.60)
士幌町	5,411	4,340	80.21(78.16)
上士幌町	4,445	3,594	80.85(78.02)
鹿追町	4,608	3,929	85.26(81.71)
新得町	5,802	4,831	83.26(80.31)
清水町	8,711	7,083	81.31(76.01)
芽室町	15,253	12,135	79.56(74.56)
中札内村	3,242	2,783	85.84(82.33)
更別村	2,791	2,393	85.74(81.25)
大樹町	5,143	4,187	81.41(78.13)
広尾町	6,749	5,348	79.24(73.94)
幕別町	22,118	17,540	79.30(75.28)
池田町	6,728	5,455	81.08(77.59)
豊頃町	3,124	2,550	81.63(78.52)
本別町	7,157	5,790	80.90(79.12)
足寄町	6,686	5,626	84.15(83.99)
陸別町	2,391	2,113	88.37(88.03)
浦幌町	4,926	4,146	84.17(82.97)
町村合計	150,909	122,020	80.86(77.04)
道11区合計	289,067	223,084	77.17(72.99)

比例代表市町村別投票率

（投票率の単位は%、カッコ内は前回）

	有権者数	投票者数	投票率
帯広市	138,158	101,422	73.41(68.53)
音更町	35,624	27,730	77.84(73.54)
士幌町	5,411	4,339	80.19(78.07)
上士幌町	4,445	3,593	80.83(77.96)
鹿追町	4,608	3,929	85.26(81.66)
新得町	5,802	4,832	83.28(80.26)
清水町	8,711	7,080	81.28(75.90)
芽室町	15,253	12,133	79.55(74.51)
中札内村	3,242	2,784	85.87(82.14)
更別村	2,791	2,394	85.78(81.19)
大樹町	5,143	4,187	81.41(78.04)
広尾町	6,749	5,348	79.24(73.87)
幕別町	22,118	17,538	79.29(75.26)
池田町	6,728	5,452	81.03(77.55)
豊頃町	3,124	2,545	81.47(78.43)
本別町	7,157	5,788	80.87(78.98)
足寄町	6,686	5,625	84.13(83.92)
陸別町	2,391	2,113	88.37(88.00)
浦幌町	4,926	4,147	84.19(82.92)
町村合計	150,909	121,557	80.55(76.97)
十勝管内合計	289,067	222,979	77.14(72.94)